

甘くてジューシーな味わいが楽しめるネーブルオレンジ

ネーブルオレンジ（カンキツ）

○特 徴：

香り高く、甘味と酸味のバランスの良いスイートオレンジ。果頂部にへそ（navel）に似た窪みがあることから、こう呼ばれる。

輸入品のイメージがあるが、日本では4大晩柑（はっさく・いよかん・夏ミカン・ネーブル）の1つとして親しまれてきた。本県ではかつらぎ町が県内一の生産量を誇る。



○食べ方：

カットして生食する他、ジュースとしても利用される。

○来 歴：

19世紀末、のちにネーブル王と呼ばれた堀内仙右衛門が、アメリカで人気があったワシントンネーブルを日本で最初に紀北地方へ導入した。その後、栽培方法を確立しネーブル増産に成功した。

紀北地方はネーブル発祥の産地として栽培が続けられ、かつらぎ町では今もネーブル栽培が根付いている。



○ 旬 ：12月上旬～3月上旬

○産 地：かつらぎ町

○生産量：535 t（H24年度）

○問い合わせ先：JA紀北かわかみ（代表 0736-42-5361）

○販売単位：箱、袋